

活動状況の写真 (2007 年度)



南あわじ市倭文中学校出前実験教室



おもしろ化学実験教室 (西宮)



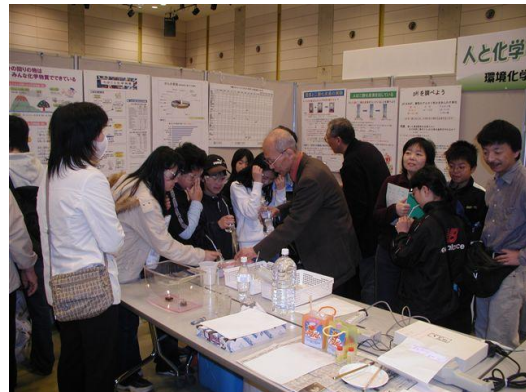
コープ緑が丘出前教室



おもしろ化学実験教室 (尼崎)



ひょうごエコフェスタ電池実験



明石環境フェア (ローソク実験)

明石環境フェア出展の神戸新聞明石版（20年3月17日朝刊）記事
 下の写真がローソク実験を説明中の当会藤橋氏

新 戸 申 報

(第3種郵便物認可)

リサイクルや省エネ楽しく習得

子どもらに体験型ブース人気

クイズや実験に笑顔

地球温暖化やごみ減量などの環境問題を啓発する明石市主催の「あかし環境フェア」が16日、市立産業交流センター（大久保町のき通）で開かれた。多くの家族連れが、体験型ブースや「地産地消」がテーマのフードコーナーを訪れ、環境を学ぶことの大切さを学んでいた。

（水田憲亮）

同センター一階には、環境保全に取り組む市民団体や企業が計十六のブースを並べた。子どもたちは各ブースを巡り、省エネや資源リサイクルを売、フリーマーケットの分りやすく説明したクイズや実験を楽しんだ。屋外テントも多くの人でにぎわった。

ステージでは、魚住小の児童と明石高専の学生が環境学習の取り組みを、その火が燃える仕組みを学んだ大久保南小一年生、魚住小三年の男女の田中佑希さん（こ）は、木の観察会の「コップをかぶせると、成果を劇のスタイルで発表し、大きな拍手を浴びかかった」と笑顔で話していた。また、地元明石の玉子焼きや農産物販売

体験型ブースが並んだ環境フェア。魚や動物のバスルで遊ぶ子どもたち。いずれも大久保町のき通、市立産業交流センター

火が燃える仕組みを紹介する実験コーナーも



炭電池実験三態





水生生物調査（三木市志染川）



忍者絵具で絵を画いた（明石）



水生生物調査（社高校生物教室）